

NEWS RELEASE

<ニュースリリース>

2013年7月1日

ナショナル バasketボール リーグ(NBL) ナショナル バasketボール 育成リーグ(NBDL) 唯一の公式試合球としてGL7を提供



競技用ボールとスポーツエキップメントメーカーの株式会社モルテン(本社:広島市西区、代表取締役社長:民秋清史)の競技用バスケットボール『GL7』が、2013年秋に開幕する「NBL2013-2014シーズン」および「NBDL2013-2014シーズン」でともに唯一の公式試合球として採用されます。

「NBL」は、昨シーズンで終了したJBLに替わる日本の男子バスケットボールトップリーグで、新たに4チームを加え全12チームで9月28日(土)に開幕します。また、NBLの下部リーグとなるNBDLは全9チームで10月19日(土)に開幕しそれぞれ熱戦を繰り広げます。

大会球『GL7』は、12枚パネルに2トーンの色を用いることで選手・観客双方の視認性を高め、新技術の採用によってリバウンドスピードとグリップ性の向上という相反する課題をクリアするなど、よりエキサイティングなゲームを可能にしたバスケットボールです。

今後も、モルテンブランドの根幹にある“*For the real game*”を実現する製品を提供することで、スポーツ関連業界全体の更なる発展に貢献してまいります。

■世界的プロダクトデザイン会社『GIUGIARO DESIGN』チームによるデザイン

バスケットボールのデザインは、長い間FIBAのルールにより、茶色もしくはオレンジ色の8枚の楕円形パネルでの構成が規定されており、それ以外のパネル形状、色は認められていませんでしたが、2004年6月、パリで開催された中央理事会において当該ルールの変更を正式決定し、2004年9月1日をもって12枚パネルバスケットボールを公式試合球として採用されました。モルテンは、この新ルールに則った独自形状の12枚パネルボールを設計するにあたり、デザインを世界的プロダクトデザイン会社 GIUGIARO DESIGN(ジウジアーロ デザイン)チームと共同で完成させました。

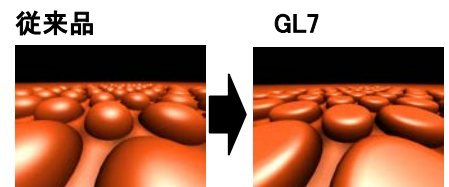
ボールを特徴づけるオレンジ色のパネルとシーム(パネルの継ぎ目部分)はそのままに、全体を取り囲むような2本の帯には、ルール変更で可能となったクリーム色を使用し、伝統と革新性を融合させた高いデザイン性を実現しています。優れた視認性を実現するために選ばれた暖色系のカラーコントラストは、従来の印象を受け継ぎながらも、スピードプレーの中に斬新なイメージを映し出します。

■パスの正確性とシュートの成功率を向上させるテクノロジー

『GL7』は、モルテン独自の2つの『アドバンスト バスケットボール テクノロジー』が採用された、プレイヤーの能力を最大限に引き出す革新的なバスケットボールです。

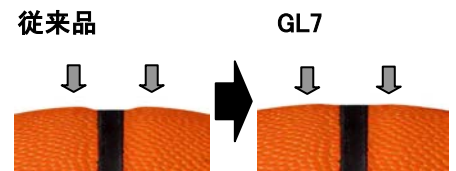
① Molten Flat-Pebble Surface／モルテン フラットシボ

ボール表面の丸みのあるポツポツとしたシボ形状をフラットに改良。接する面積が増えることで、いままで以上に手の平に吸いつくような感触を高めています。あらゆるプレーにおいて究極のコントロール性を発揮します。



② Molten Full-Flat Seam／モルテン フルフラット シーム

シーム周辺部をフラットに加工。段差をなくしたことで、触れる部分に関係なく、つねに安定したショットやパス、さらには一定のバックスピンをかけることが可能になりました。この結果、パスの正確性を向上させると共に、シュートの成功率を高めています。



■製品概要

品名	GL7
品番	BGL7
価格(サイズ)	¥11,865(7号球)
材質	天然皮革
知的財産権	意匠登録済
公認	FIBA国際バスケットボール連盟公認球(FIBA APPROVED)
生産国	タイ製

<『GL7』国内外の大会使用実績>

FIBA(国際バスケットボール連盟)主催 国際大会唯一の公式試合球 / JBA(公財)日本バスケットボール協会主催全日本総合選手権大会唯一の公式試合球 / JBL(日本バスケットボールリーグ)主催大会唯一の公式試合球 / 全日本社会人選手権大会唯一の公式試合球 / 全日本学生選手権大会(インカレ)唯一の公式試合球 / 日本車椅子バスケットボール連盟主催大会唯一の公式試合球



ナショナル バasketボール リーグ (NBL) 概要

公益財団法人 日本バスケットボール協会 ウェブサイト<http://www.japanbasketball.jp/nbl/>より引用

■参加チーム

参加チーム公募及び審査の結果、NBLは下記12チームを参加チームとします。(2013年6月1日時点)

団体名	チーム名	フランチャイズエリア
株式会社北海道バスケットボールクラブ	レバンガ北海道	北海道
株式会社リンクスポーツエンターテインメント	リンク栃木プレックス	栃木県
株式会社デイトリック	デイトリックつくば	茨城県
株式会社ASPE	千葉ジェッツ	千葉県
株式会社日立製作所	日立サンロッカーズ東京	東京都・千葉県柏市(共有エリア)
トヨタ自動車株式会社	トヨタ自動車アルパルク東京	東京都
株式会社東芝	東芝ブレイブサンダース神奈川	神奈川県
アイシン精機株式会社	アイシンシーホース三河	愛知県
三菱電機株式会社	三菱電機ダイヤモンドドルフィンズ名古屋	愛知県
和歌山トライアンズ株式会社	和歌山トライアンズ	和歌山県
株式会社アスリートグリーン兵庫	兵庫ストークス	兵庫県
熊本バスケットボール株式会社	熊本ヴォルターズ	熊本県

■競技ルール

主なポイントは次の通りです。

開催期間

- 1)レギュラーシーズン 2013年9月28日(土)～2014年4月27日(日)
- 2)プレーオフ 2014年5月2日(金)～5月26日(月)
 - クォーターファイナル: 2014年5月2日(金)～5月5日(月・祝)
 - セミファイナル : 2014年5月10日(土)～5月13日(火)
 - ファイナル : 2014年5月21日(水)～5月26日(月)
- 3)オールスター 2013年12月29日(日)

大会方式

- 1)レギュラーシーズン
 - 全試合数324試合1チーム当たり54試合
 - 12チームを2つのカンファレンスに分割した6チーム1カンファレンスでの総当たり戦
 - ※12月7日(土)から3月23日(日)までは他カンファレンスとの交流戦を実施
 - イースタンカンファレンス(EAST):**
北海道、リンク栃木、千葉、日立東京、トヨタ自動車東京、東芝神奈川
 - ウエスタンカンファレンス(WEST):**
つくば、アイシン三河、三菱電機名古屋、和歌山、兵庫、熊本
- 2)プレーオフ
 - レギュラーシーズン各カンファレンス上位3チーム、計6チームによるトーナメント戦
 - 1. クォーターファイナル(QF) : 各カンファレンス上位2位と3位同士による3戦2勝方式
 - 2. セミファイナル(SF) : 各カンファレンス上位1位と各QF勝者による3戦2勝方式
 - 3. ファイナル(F) : 各SF勝者による5戦3勝方式
- 3)オールスター
 - カンファレンス毎にファン投票ならびに他推薦にて選手を選考



ナショナル バasketボール 育成リーグ (NBDL) 概要

公益財団法人 日本Basketボール協会 ウェブサイト<http://www.japanbasketball.jp/nbl/>より引用

■参加チーム

NBLの下部リーグであるNBDLに関しては、下記9チームを参加チームとします。(2012年9月20日時点)

団体名	チーム名
株式会社リンクスポーツエンターテインメント	TGI・Dライズ
株式会社大塚商会	大塚商会アルファーズ
黒田電気株式会社	黒田電気ブリットスピリッツ
東京海上日動火災保険株式会社	東京海上日動ビッグブルー
一般社団法人カルティベイティブ・スポーツクラブ	東京エクセレンス
アイシン・エイ・ダブリュ株式会社	アイシン・エイ・ダブリュ アレイオンズ安城
豊田合成株式会社	豊田合成スコピオンズ
豊田通商株式会社	豊田通商ファイティングイーグルス名古屋
株式会社スポーツフロンティア鹿児島	レノヴァ鹿児島

■競技ルール 主なポイントは次の通りです。

開催期間

- 1)レギュラーシーズン 2013年10月19日(土)～2014年3月16日(日) 予定
- 2)プレーオフ 2014年3月22日(土)～2014年3月23日(日) 予定
- 3)オールスター 未定

大会方式

- 1)レギュラーシーズン
 - ホーム&アウェー方式
 - 9チームによる4回戦総当たりのリーグ戦
 - 1チーム32試合(合計144試合)
- 2)プレーオフ
 - リーグ主管開催
 - 中立地開催
 - レギュラーシーズン上位4チームによるトーナメント戦
 - [セミファイナル(SF)] : レギュラーシーズン1位と4位、2位と3位による1戦先勝方式
 - [ファイナル(F)] : 各SF勝者による1戦先勝方式
- 3)オールスター